



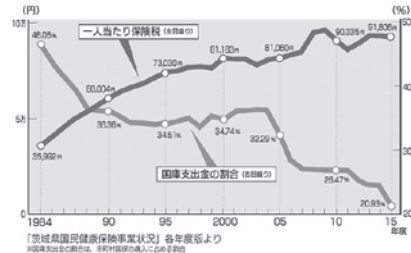
秋庭 繁 議員

**古河市の国民健康保険税の大幅値上げについて**

**問** 全国知事会は、健康保険制度維持のため、国に1兆円の負担を求め、均等割、平等割を廃止すべきとしている。古河市で均等割、平等割を廃止すると国民健康保険税はどう変わるか。

**答（生活安全部長）** 一例として、給与年収400万円で4人家族、夫婦と子ども2人の場合は、現在の国民健康保険税が33万1,100円だが、均等割、平等割を廃止

すると21万7,300円で、差額はマイナス11万3,800円となる。



県の年間国保税と国庫負担割合

**小中学校の給食費の無償化について**

**問** 全国、県内でも無償化が始まっているが、市の考えを伺う。

**答（市長）** 財政負担を考えると、児童数の変動がなければ概算で5億1,000万円が毎年かかり、食材費等が高騰すれば、さらにそれ以上の金額となる。他市町村を見ると、古河市よりも人口の

少ない町等で給食費の無償化が実現できている。給食費はあくまでも賄い材料費についてご負担をいただいている。

**古河市が参加している思川開発（南摩ダム建設）について**

**問** 南摩ダムの水利権は83億円だが、そのほか周辺整備費等について伺う。

**答（上下水道部長）** 平成16年からダム完成までに栃木県および鹿沼市において実施される事業費の一部を負担している。古河市の負担金総額は約11億3,100万円で、毎年度の事業実施額に応じ負担金を支出しており、平成29年度までの支出合計額は約3億9,800万円である。



四本 博文 議員

**古河市総合的文化施設の建設計画および設置について**

**問** 総合的文化施設の建設について、どのように実施するのか。また、合併特例債を活用した建設促進の考え方について伺う。

**答（市長）** 総合的文化施設の整備については行政の思いだけでは到底なし得ず、市民の理解、協力も必要である。市や市民にとって真に必要なものは何かを見極め、対応していきたい。

**答（企画政策部長）** 文化施設は、

過去に白紙撤回になった経緯もあり、行程については現在はお示しできない。財政的にも有利である合併特例債が活用できる新市建設計画の延長についても準備を進めていく。



当初の計画にあった複合施設（文化センターの完成予想図）

**児童虐待防止の対策および民間シェルターの強化について**

**問** 千葉県野田市で、虐待の兆候がありながら、児童相談所や教育委員会が見逃し、小学校4年生の尊い命が失われた。悲劇を繰り返さないための取り組みについて伺う。また、内閣府が

DV等の被害者のための民間シェルターの強化を議論しているが、近隣自治体や国、県と連携した今後の対応について伺う。

**答（市長）** 第2期古河市虐待・DV対策基本計画に基づき、安心して暮らせるまちの実現を目指し、関係機関、団体等との連携を一層強化しながら、早期発見、相談体制の強化等に取り組んでいきたい。

**答（健康福祉部長）** 虐待等による一時保護については、児童福祉法第33条で、児童相談所長の権限とされており、筑西児童相談所に依頼し実施している。これまで以上に児童相談所や警察と緊密に連携を取り、対応していきたい。